

令和8年度第1回長久手市予防接種健康被害調査委員会次第

日時 令和8年7月2日（木）

午後4時から午後5時まで

場所 長久手市保健センター3階会議室

1 あいさつ

2 議題

- (1) 成人の予防接種について
- (2) 子どもの予防接種について
- (3) 予防接種事務のデジタル化について
- (4) その他

3 その他

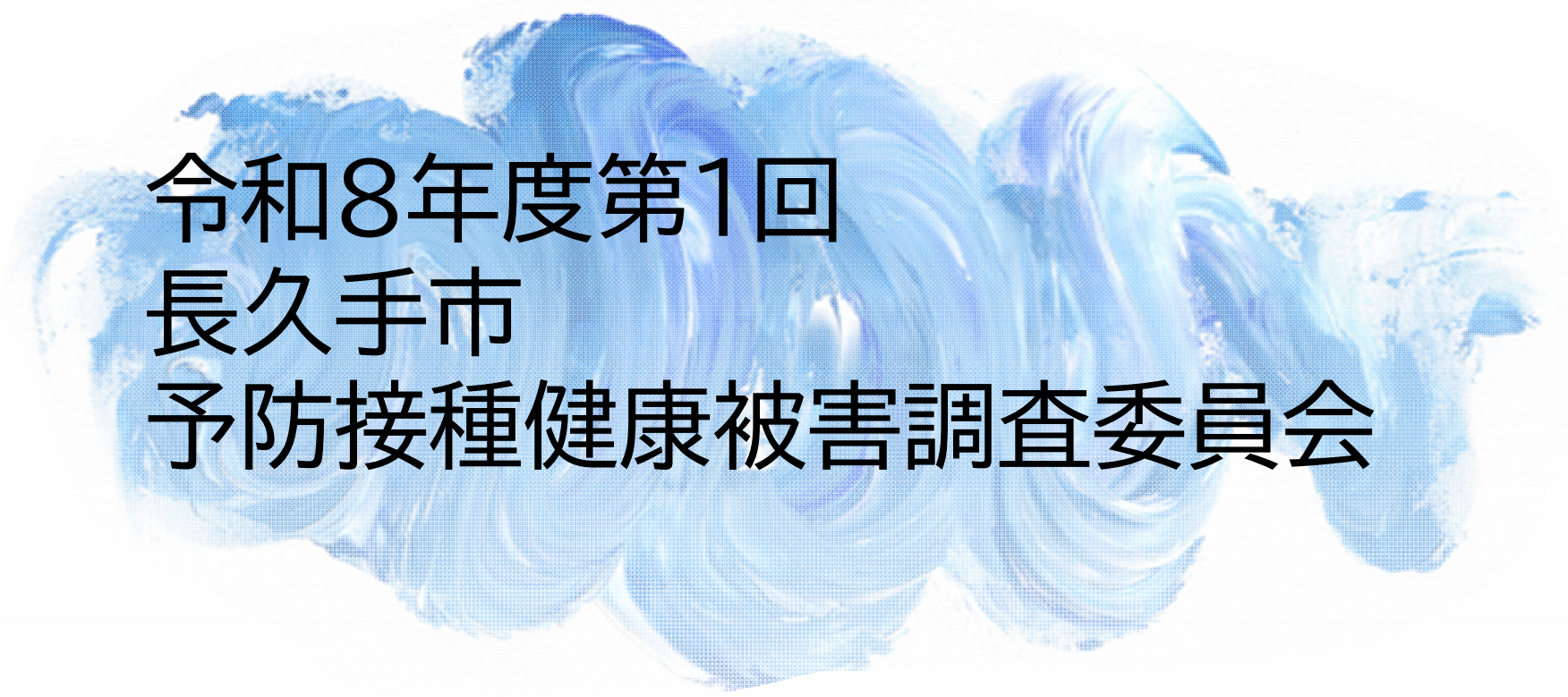
配付資料

- 1 長久手市予防接種健康被害調査委員会規則
- 2 名簿
- 3 資料1「令和8年度第1回長久手市予防接種健康被害調査委員会資料」
資料2「成人の定期予防接種一覧」
資料3「子どもの定期予防接種一覧」
資料4「新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について」



あいさつ運動・ごみ拾い運動に取り組んでいます。

あたたかく美しいまちをつくりましょう！

A large, abstract, blue-toned graphic with swirling, textured patterns, resembling watercolor or ink splatters, serves as a background for the main title text.

令和8年度第1回 長久手市 予防接種健康被害調査委員会

令和8年7月2日(木)
福祉部健康推進課
子ども部子ども家庭課

議題

- 1 成人の予防接種について
- 2 子どもの予防接種について
- 3 予防接種事務のデジタル化について
- 4 その他
(新型インフルエンザ等対策行動計画改定)

議題 1

成人の予防接種について



はじめに

予防接種事業の担当部署について

長久手市では、成人と子どもの予防接種に分けて2課で担当しています。

福祉部

健康推進課

○健康推進係

○**成人保健係**

- 健康づくり
- 精神保健

- 各種検診
- 成人の予防接種**

子ども部

子ども家庭課

○家庭係

○療育支援係

○**母子保健係**

- 母子保健事業
- 子どもの予防接種**

議題 1 成人の予防接種について

1. R7～8年度にかけての変更点

令和7年
4月～

○帯状疱疹予防接種＜定期＞

定期予防接種に位置づけ（65歳が対象）

経過措置（70・75・80・85・90・95・100歳以上）

→任意予防接種助成事業の対象者を50～64歳に変更

○風しん第5期予防接種＜定期＞

MRワクチンの偏在等の対応として接種期間を2年間延長

（令和7年3月末までに抗体検査を実施した人が対象）

令和8年
4月～

○高齢者用肺炎球菌予防接種＜定期＞

定期予防接種で使用するワクチンが23価→20価に変更

令和8年
10月～
（予定）

○インフルエンザ予防接種＜定期＞

標準量インフルエンザHAワクチンに加え、

75歳以上の人は、高用量インフルエンザHAワクチンを選択可

議題 1 成人の予防接種について

2. 带状疱疹定期接種

○ワクチン（2種類から選択）及び自己負担額

- ・生ワクチン「ビケン」1回接種 自己負担額：2,500円
- ・組換えワクチン「シグリック」2回接種 自己負担額：7,000円／回

■ 令和7年度実績

令和7年4月に該当の年齢となる対象者2,255人に接種券と予診票を送付

➡接種実績1,528件（接種完了809人中、ビケン選択者113人(14.0%)）

年齢別接種実績(R7)

		60歳以上 65歳未満	65歳	70歳	75歳	80歳	85歳	90歳	95歳	100歳～	計
带状疱疹 定期接種 接種者数(人)	組換えワクチン 1回目	0	202	170	147	91	71	28	6	4	719
	(a)組換えワクチン 2回目	0	192	167	144	86	69	29	6	3	696
	(b)生ワクチン	0	37	16	20	15	15	8	0	2	113
(c)対象者数(人)			518	448	447	296	298	155	62	31	2,255
接種率(%) (a+b)/c			44.2	40.8	36.7	34.1	28.2	23.9	9.7	16.1	35.9

<带状疱疹の接種率の算出方法> (組換えワクチン(2回目)接種者数(a)+生ワクチン接種者数(b))/対象者数(c)

※接種率は、組換えワクチン2回目の接種者数及び生ワクチンの接種者数を接種完了者数とみなして算定。

議題 1 成人の予防接種について

3. 風しん第5期予防接種

- 対象：昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性のうち
令和7年3月末までに抗体検査を受け、抗体が不十分だった方
(当初の実施期間：平成31年4月～令和7年3月末)

MRワクチンの供給が不安定となっている状況があったことを理由として接種期間を2年間延長（令和9年3月末まで接種可）



■ 令和7年度実績

令和7年6月	期間延長のお知らせと接種クーポン券を 対象者74人に個別通知
接種者数	4人

議題 1 成人の予防接種について

4. 高齢者肺炎球菌予防接種

予防接種法の改正により、令和8年4月から使用ワクチン変更

	令和8年3月31日まで	令和8年4月1日から
使用ワクチン	23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライド ワクチン(PPSV23)	沈降20価肺炎球菌結合型 ワクチン(PCV20)
接種方法	皮下または筋肉内に 0.5mlを1回接種	筋肉内に0.5mlを1回接種
自己負担額	2,500円	3,500円

▶ 年度をまたいで対象となる者もいるため、ワクチンの変更・自己負担金が変わる旨は、広報紙面（3月号）及び市HPへの掲載により周知

接種実績(65歳)

年度	R6	R7
接種者数(人)	121	172
対象者数(人)	481	533
接種率(%)	25.2	32.3

議題 1 成人の予防接種について

5. インフルエンザ予防接種

令和8年10月から高用量インフルエンザHAワクチンが追加

10月～追加

	高用量インフルエンザHAワクチン	標準量インフルエンザHAワクチン
1株あたり抗原量	60 μ g	15 μ g
接種方法・回数	0.7ml(筋肉注射)・年度に1回	0.5ml(皮下注射)・年度に1回
定期接種対象者	75歳以上の者(選択制)	65歳以上の者
自己負担額	3,000円(予定)	1,500円(予定)

接種実績(65歳以上)

年度	R5	R6	R7
接種者数(人)	6,846	6,392	6,367
対象者数(人)	10,542	10,938	10,990
接種率(%)	64.9	58.4	57.9

議題 1 成人の予防接種について（任意接種助成）

6. 带状疱疹任意接種費用助成事業

令和6年7月1日から開始

○対象者

（令和6年度）満50歳以上の人

（令和7年度）満50歳から65歳未満の人

➡令和7年4月～带状疱疹定期接種開始に伴い、
65歳以上（昭和36年4月1日以前生まれ）の方は、定期接種を優先に変更

○ワクチン（2種類から選択）及び助成額

- ・生ワクチン「ビケン」1回接種 助成額：4,000円
- ・組換えワクチン「シングリックス」2回接種 助成額：10,000円／回

○経過措置（R7年度中）

65歳以上で令和7年3月31日までに
シングリックス1回目接種した方は、
令和7年度中の2回目接種も助成

ワクチン別助成件数

	R6	R7
ビケン	24	9
シングリックス(1回目)	728	145
シングリックス(2回目)	525	328
計	1,277	482

単位:件

年代別接種件数

	R6	R7
50～64歳	515	342
65歳以上	762	140
計	1,277	482

単位:件

議題 1 成人の予防接種について（任意接種助成）

7. 風しん対策事業

妊娠期の風しん罹患による先天性風疹症候群の発生を予防し、先天性風疹症候群の発生を集団防衛するため、抗体検査費とワクチン接種費を助成

○ 対象者

抗体検査費	・ 妊娠を予定又は希望する出産経験のある女性及びその配偶者等の同居者 ・ 妊娠中の女性の配偶者等の同居者
予防接種費	上記のうち抗体検査を受けた結果、医師により抗体が不十分と判断された者

○ 実績

対象者	抗体検査			ワクチン接種		
	R5	R6	R7	R5	R6	R7
女性	1	8	8	5	11	23
男性	6	6	6	6	3	10
合計	7	14	14	11	14	33

単位：人

▶ 令和8年度～ 対象者の見直し、助成額変更

- 「妊娠を予定又は希望する出産経験のない女性及びその配偶者等の同居者」（風しんの接種歴があると県の抗体検査事業の対象外となる）を対象者に追加
- 助成額 上限各5,000円

議題 1 成人の予防接種について

8. 予防接種の間違い報告について

内容・件数	対象年齢外の接種 1件
予防接種の種類	带状疱疹(シングリックス)
詳細	現在の年齢から対象者になると思った方(本来の年度末年齢では対象外となる)から、接種券発行の申請を受け、令和7年度の接種券を誤って発行。 シングリックス2回分を接種した。
対応	市から説明と体調確認を行い、特に問題ないことを確認

議題 2

子どもの予防接種について



議題2 子どもの予防接種について

1. 令和7年度接種者数

出生者数（参考） (人)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				511	489	465
ロタウイルス	1,048	964	931			
ヒブ	2,089	577	23			
小児用肺炎球菌	2,092	1,922	1,811			
B型肝炎	1,545	1,441	1,338			
5種混合	—	1,333	1,834			
4種混合	2,253	649	181			
三種混合	0	0	5			
不活化ポリオ	1	1	8			
B C G	476	495	443			
M R 混合1期	551	501	457			
M R 混合2期	659	676	655			
麻しん	0	0	0			
風しん	0	0	0			
水痘	1,115	1,011	891			
日本脳炎1期	1,810	1,716	1,702			
日本脳炎2期	948	777	677			
二種混合	723	701	667			
H P V	1,061	2,500	828			

単位：件

議題2 子どもの予防接種について

2. R7～8年度にかけての変更点

令和8年
4月～

○RSウイルス母子免疫ワクチン＜定期＞

定期予防接種に位置づけ
詳細は後ほど説明

○HPVワクチン＜定期＞

- キャッチアップ延長措置終了
- 2価・4価が定期接種対象から外れ9価のみとなる
- 予診票の配布を中学校1年生から小学校6年生へ変更
(令和8年度は小学校6年生と中学校1年生に配布、
令和9年度からは小学校6年生へ配布)
- 接種勧奨通知を高校1年生に加えて中学校2年生を追加

議題2 子どもの予防接種について

3. 3歳時点での接種率の状況

		H30年 生まれ	R1年 生まれ	R2年 生まれ	R3年 生まれ	R4年 生まれ
ポリオ (生・不活化・ 4種混合・5種混 合含む)	1回目	98.7	98.3	98.0	98.8	99.1
	2回目	98.7	98.3	97.7	98.2	99.1
	3回目	98.7	98.0	97.7	98.0	98.4
	追加	96.7	95.7	95.4	92.7	92.8
ジフテリア・百 日せき・破傷風 (4種混合・5種混 合含む)	1回目	98.7	98.3	97.9	98.2	98.9
	2回目	98.7	98.1	97.6	97.9	98.9
	3回目	98.7	98.1	97.4	97.9	98.4
	追加	96.7	95.5	95.6	93.1	92.9
結核		96.9	96.7	96.8	97.2	97.7

単位：％

※ 3歳の誕生日の属する年度の年度末にデータを抽出しています。

※ 4種混合・5種混合には、ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオが含まれているため、三種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風）とポリオの両方に計上しています。

議題2 子どもの予防接種について

4. 2歳時点での接種率の状況（麻しん及び風しん）

	対象者数(人)	接種者数(人)	接種率(%)
R1年生まれ	690	666	96.5
R2年生まれ	609	586	96.2
R3年生まれ	552	539	97.6
R4年生まれ	598	579	96.8
R5年生まれ	512	498	97.3

※ 2歳の誕生日の属する年度の年度末にデータを抽出しています。

議題2 子どもの予防接種について

5. 特別の理由による任意予防接種費用助成事業

○目的

定期の予防接種を受けた後、骨髄移植手術その他の理由により、接種済みの定期予防接種の予防効果が期待できないと医師に判断され、任意で再度接種する者に対し、予防接種に要する費用の一部を助成することにより、保護者の経済的負担を軽減し、疾病の発生及びまん延を防止する。令和元年度から実施

○対象となるワクチン

再接種することが必要と医師が判断した定期予防接種A類ワクチン

○予防接種被接種者数

	R3	R4	R5	R6	R7
申請者	2	2	1	1	0
助成者	2	1	1	0	0

単位：人

※助成期間は接種日の翌日から起算して1年以内のため、年度をまたいで助成申請する者がいる。

○取組

ホームページでの周知、健診等で把握した際は随時案内を行っている。

6. RSウイルス（母子免疫）ワクチンの定期予防接種化

- 対象者：妊娠28週0日から36週6日までの妊婦
- 用いるワクチン：組換えRSウイルスワクチン（アブリスボ筋注用）
- 接種方法：妊娠毎に1回0.5mlを筋肉内に接種
- 案内方法：
 - 親子（母子）健康手帳交付時に案内文配布。
 - 妊娠24週頃に個別通知を実施（月に2回抽出、発送）
 - 転入時にも案内を実施。
 - ※広域申請、償還払いの対象の方が多くいると見込まれたことにより、接種誤りを防ぐために個別通知に予診票は同封していない。
 - 接種希望者は電子または窓口で申請をすることにより、予診票の交付を受けることができる。電子申請は、長久手市のホームページからも可能。

	3月	4月	5月	合計（6月15日時点）
案内発送数	126	38	39	203
申請者数 （案内発送数のうち）	84	21	15	120

議題2 子どもの予防接種について

7. 予防接種の間違い報告について（子ども）

内容・件数	不必要な接種 1件
予防接種の種類	日本脳炎ワクチン
詳細	日本脳炎1期3回目、2期1回を接種していたが、 2期の定期接種期間中にもう1回接種した。 2期接種前に再発行された予診票を持っていたため、接種してしまった。
対応	医療機関と長久手市から説明と体調確認し、特に問題ないことを確認

議題 3

予防接種事務のデジタル化について



議題3 予防接種のデジタル化について

1. 概要

デジタル化の概要

➤ 一次利用（予防接種の対象者・自治体・医療機関におけるデジタル化）

- 医療保険におけるオンライン資格確認と同様に、個人番号カードによる接種対象者の確認の仕組みを導入。
- 予診情報・予防接種記録管理／請求支払システム（予予・請求システム）により、自治体の接種記録を管理するほか、自治体及び医療機関間の費用請求・支払事務を効率化。

➤ 二次利用（予防接種データの利活用）

- 予防接種の有効性・安全性の向上のための調査・研究を行うため、予防接種の実施状況や、副反応疑い報告に係る情報を含む匿名予防接種データベースを整備し、医療保険レセプト情報等のデータベース（NDB）等との連結解析を可能とする。
- 匿名予防接種データベースの情報を、大学や研究機関等へ提供できるようにする。

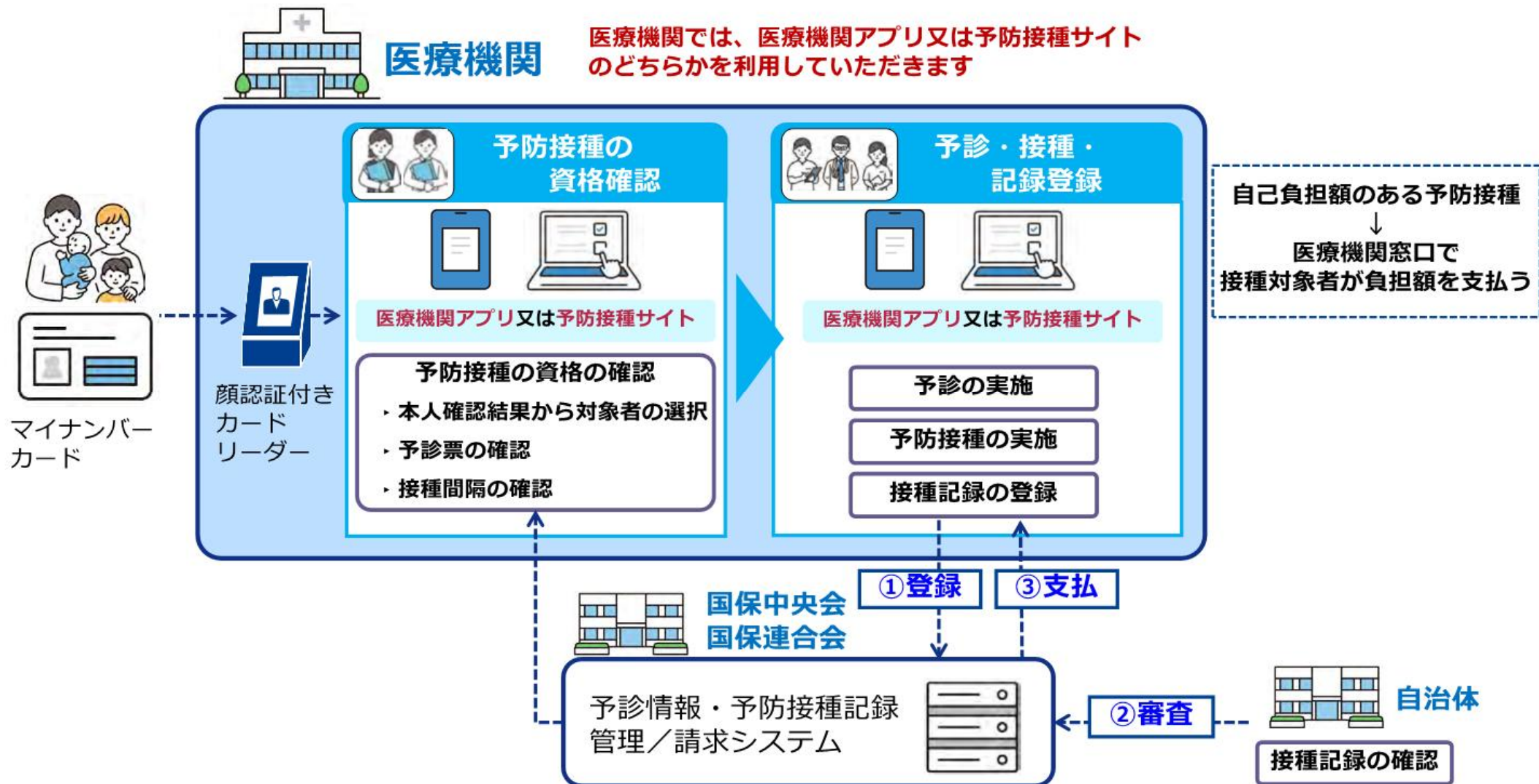
○市民のメリット

- ・ スマホで簡単に予診票に入力することができる。
- ・ 記載漏れが防げる。
- ・ 接種記録をすぐ見られる。

○医療機関のメリット

- ・ 接種実績が自動化され、かつ、オンライン費用請求が可能。
- ・ 予診票の記載漏れ防止
- ・ 接種間隔のチェックの効率化

議題3 予防接種のデジタル化について



議題3 予防接種事務のデジタル化について

2. スケジュール

所管	システム等	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度～
	マイルストーン		△健康管理システム 標準仕様書3.1版 (R7.1) 現在	△改正予防接種法の施行(R8.6) R8.6		
1	厚生労働省		設計・開発	運用		
2	国保中央会		設計・開発	運用		
	・ 予診情報・予防接種記録管理／請求支払システム		設計・開発	運用		
	・ 予防接種集合契約システム		設計・開発	運用		
3	支払基金		設計・開発	運用		
	・ 医療保険者等向け中間サーバー等 ・ オンライン資格確認等システム ・ 履歴照会回答システム		設計・開発	運用		
4	デジタル庁		設計・開発	運用		
	・ マイナポータル ・ PMH（共通）		設計・開発	運用		
5	PMDA		設計・開発（①）	運用		
	・ 医療機関報告関係システム群（①） ・ VDB連携システム（②） ・ 安全対策支援システム（②）		設計・開発（②）	運用		
6	自治体	先行実施		デジタル化に伴い終了	デジタル化に移行し先行実施は終了	
	・ 健康管理システム【標準仕様書2.0版以前】 ※先行実施に参加する自治体のみ					
	・ 健康管理システム【標準仕様書3.1版以降】		設計・開発	導入・運用		全国運用

議題3 予防接種のデジタル化について

3. 参考（厚生労働省ホームページ）

健康・医療

予防接種のデジタル化（医療機関向け）

- ▼ [最新情報](#)
- ▼ [医療機関向け説明資料](#)
- ▼ [医療機関アプリを開発しているベンダの一覧](#)
- ▼ [デジタル化対応自治体一覧](#)
- ▼ [医療機関向け広報資材（ポスター）のダウンロード](#)

予防接種のデジタル化
医療機関向けの情報



議題 4

その他

(新型インフルエンザ等対策行動計画改定)



定期予防接種の概要と周知方法

ワクチン名	対象年齢	実施期間	R7自己負担金(円)	R8自己負担金(円)	本市での周知方法
インフルエンザ	・65歳以上 ・60歳以上65歳未満で厚生労働省令に定める者※	10月～1月	1,500	(予定) 標準量 1,500 高用量 3,000	・開始時点で市内に住所を有する満65歳以上の対象者に、予診票等を個別通知(9月末) ・広報、市ホームページで周知
新型コロナウイルス感染症		10月～3月	4,500	5,000	
高齢者肺炎球菌	・65歳 ・60歳以上65歳未満で厚生労働省令に定める者※	通年	2,500	3,500	・満65歳となる誕生月の月末に予診票等を個別通知 ・広報、市ホームページで周知
带状疱疹	・65歳 ・経過措置 (令和11年度まで) 70・75・80・85・90・95・100歳 (令和7年度限り) 令和6年度末時点で100歳以上の者 ・60歳以上65歳未満でヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する者	通年	ビケン 2,500 シングリックス 7,000/回	ビケン 2,500 シングリックス 7,000/回	・対象者に接種券及び予診票1枚を個別通知(4月) ・組換えワクチン2回目の予診票は、医療機関に設置 ・広報、市ホームページで周知
【追加的対策】 風しん第5期	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日に生まれた男性	通年	—	—	・抗体検査の結果、抗体価が不十分で未接種の方に、期間延長のお知らせとクーポン券を個別通知(R7.6月) ・広報、市ホームページで周知

※心臓、じん臓、呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障がい有する者。障がいの程度は厚生労働省令で定める。

【実施場所】

(1) 指定医療機関	長久手市、日進市、豊明市、東郷町の指定医療機関 (東名古屋医師会に委託し、近隣を含めた4市町で接種できる体制)
(2) (1)以外の県内の医療機関	愛知県が実施している愛知県広域予防接種事業に登録している協力医療機関
(3) (1)、(2)以外の医療機関	希望の医療機関 (接種費用全額を医療機関に支払い、申請のうえ償還払いを受ける。)

成人の定期予防接種 接種率一覧

単位: %

B類疾病			令和5年度	令和6年度	令和7年度	県平均: 令和6年度
高齢者肺炎球菌			31.9	25.2	32.3	16.2
インフルエンザ			64.9	58.4	57.9	52.5
新型コロナウイルス感染症			-	24.1	15.3	17.0
带状疱疹	生ワクチン		-	-	35.9	-
	組換えワクチン	1回目				
		2回目				

・数字は、予防接種実施状況報告として愛知県に提出している対象者数及び接種件数をもとに算出した接種率
・なお、60歳以上65歳未満で厚生労働省令に定める者の接種件数は含まない。

定期予防接種の概要と周知方法

ワクチン名		対象年齢	周知・啓発
RSワクチン		妊娠28週0日～36週6日	・親子健康手帳交付時に案内文配布。 ・妊娠24週頃に個別通知を実施。
ロタウイルス	1価ワクチン	生後6週～生後24週	・出生6週頃に最初の1枚を個別郵送。2回目以降は市内実施医療機関から配布。5種混合は出生6週頃に4回分まとめて個別郵送。 ・赤ちゃん訪問時に確認。 ・育児教室で説明、勧奨。 ・3～4か月児健診、10か月児相談、1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診で接種状況の確認。 ・BCGは生後10か月児時点未接種者に個別通知(毎月)。
	5価ワクチン	生後6週～生後32週	
ヒブ		生後2～60月未満	
小児用肺炎球菌		生後2～60月未満	
B型肝炎		生後1歳未満	
5種混合		生後3～90月未満	
4種混合		生後3～90月未満	
三種混合		生後3～90月未満	
不活化ポリオ		生後3～90月未満	
BCG		生後1歳未満	
麻しん風しん混合(MR) 麻しん 風しん	1期	生後12～24月未満	【第1期】 ・生後12月頃に個別郵送。 ・1歳6か月児健診で接種状況の確認。 【第2期】 ・就学1年前に個別郵送。 ・長期休暇前(7月・12月・2月)に前月末時点未接種者に個別通知。
	2期	就学前の1年間	
水痘		生後12～36月未満	・生後12月頃に2回分まとめて個別郵送。
日本脳炎	1期	生後6～90月未満	【第1期】 ・3歳頃に3回分まとめて個別郵送。 ・3歳児健診で接種状況の確認。 【第2期】 ・9歳頃に個別郵送。
	2期	9～13歳未満	
	特例)20歳未満までに不足分	平成19年4月1日以前生まれで20歳未満の者	
二種混合	2期	11歳～13歳未満	・11歳頃に個別郵送。 ・長期休暇前(7月・12月・2月)に前月末時点未接種者に個別通知。
HPV		小学校6年生から高校1年生に相当する年齢の女子	・小学校6年生、中学校1年生の時期(令和9年度からは小学校6年生)に予診票1枚と説明文とリーフレットを個別郵送。その後は市内実施医療機関から配布。 ・中学校2年生と高校1年生に7月に前月末時点未接種者に個別通知。 ・ホームページへHPVワクチンに関する情報の掲載。

【実施場所】

(1) 指定医療機関	長久手市内の指定医療機関で接種 (東名古屋長久手市医師会に委託)
(2) (1)以外の県内の医療機関	愛知県が実施している愛知県広域予防接種事業に登録している協力医療機関で接種
(3) (1)、(2)以外の医療機関	里帰りや県外医療機関に入院中の場合など特別の事情がある人は、希望の医療機関で接種 (接種費用全額を医療機関に支払い、申請のうえ償還払いを受ける。)

子どもの定期予防接種 接種率一覧

単位: %

A類疾病			令和7年度	県平均: 令和6年度	備考
RSワクチン			-	-	
ロタウイルス	1価ワクチン	第1回	97.0	87.4	
		第2回			
	5価ワクチン	第1回			
		第2回			
		第3回			
ヒブ		第1回	-	1.7	
		第2回		12.6	
		第3回		24.2	
		第4回		87.9	
小児用肺炎球菌		第1回	97.6	97.7	
		第2回	97.0	97.9	
		第3回	95.9	97.4	
		第4回	96.5	93.3	
B型肝炎		第1回	97.0	98.6	
		第2回	97.0	98.9	
		第3回	94.2	96.8	
5種混合	初回接種	第1回	97.5	97.7	
		第2回		89.4	
		第3回		80.4	
	追加接種		104.1	8.5	
4種混合	初回接種	第1回	-	2.2	
		第2回		14.4	
		第3回		27.1	
	追加接種				101.2
三種混合			-	-	
不活化ポリオ			-	-	
BCG			95.5	96.6	
MR混合		第1期	95.4	93.3	
		第2期	96.3	92.0	
水痘		第1回	95.2	95.9	
		第2回	87.0	93.1	
日本脳炎	初回接種	第1回	103.9	94.7	特例接種を含む
		第2回		94.1	
	追加接種		93.0	92.5	
	第2期		92.4	90.5	
二種混合	第2期		87.2	80.1	
HPV	2価・4価	第1回	14.2	37.3	キャッチアップ接種を除く
		第2回			
		第3回			
	9価	第1回			
		第2回			
		第3回			

・数字は、予防接種実施状況報告として愛知県に提出している対象者数及び接種件数をもとに算出した接種率

新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について

(1) 趣旨

市では、「新型インフルエンザ等対策特別措置法」に基づき、政府行動計画及び愛知県行動計画を踏まえ、平成27年3月に「長久手市新型インフルエンザ等対策行動計画（第2版）」（令和2年2月一部改定）を定め、感染対策を推進しています。

新型コロナウイルス感染症対応の経験や課題を踏まえ、令和6年7月に新型インフルエンザ等対策政府行動計画が、令和7年6月に愛知県新型インフルエンザ等対策行動計画が全面改定されたことから、これを受けて本市新型インフルエンザ等対策行動計画についても改定します。

(2) 計画の構成

- 新型インフルエンザに限らず、幅広い感染症による危機を想定
- フェーズ別の記載から、項目ごとのフェーズ別の構成に順序を入れ替え

【現計画】

大項目	中項目	内容
総論	はじめに	経緯及び目的
	基本方針	基本的な戦略、被害想定、対策の基本項目、対策推進のための役割分担
未発生期	実施体制	新型インフルエンザ等が発生していない状況における体制整備
	サーベイランス・情報収集	
	情報提供・共有	
	予防・まん延防止	
	予防接種	
	医療	
	市民生活・経済の安定の確保	
海外発生期	実施体制	海外で新型インフルエンザ等が発生した状況における、国内発生に備えた体制整備
	サーベイランス・情報収集	
	情報提供・共有	
	予防・まん延防止	
	予防接種	
	医療	
	市民生活・経済の安定の確保	
県内未発生期・国内発生早期以降	実施体制	国内で新型インフルエンザ等の患者の発生はあるが、県内で新型インフルエンザ等の患者が発生していない状況における体制整備
	サーベイランス・情報収集	
	情報提供・共有	
	予防・まん延防止	
	予防接種	
	医療	
	市民生活・経済の安定の確保	
県内発生早期	実施体制	県内で新型インフルエンザ等の患者が発生しているが、患者の接触歴を疫学調査で追える状況における体制整備
	サーベイランス・情報収集	
	情報提供・共有	
	予防・まん延防止	
	予防接種	
	医療	
	市民生活・経済の安定の確保	
県内感染期・市内感染期	実施体制	県内で新型インフルエンザ等の患者の接触歴が疫学調査で追えなくなった状況における体制整備
	サーベイランス・情報収集	
	情報提供・共有	
	予防・まん延防止	
	予防接種	
	医療	
	市民生活・経済の安定の確保	
小康期	実施体制	新型インフルエンザ等の患者の発生が減少し、低い水準でとどまっている状況における体制整備
	サーベイランス・情報収集	
	情報提供・共有	
	予防・まん延防止	
	予防接種	
	医療	
	市民生活・経済の安定の確保	

【新計画（案）】

大項目	中項目	内容
総論	はじめに	目的・経緯
	基本方針	対策の基本方針、対策の基本項目、対策推進のための役割分担
実施体制	準備期	発生段階ごとの実施体制、人材確保・育成や実践的な訓練等を通じた対応能力の向上について記載
	初動期	
	対応期	
情報提供・共有、リスクコミュニケーション	準備期	平時及び有時の情報収集方法提供方法、リスクコミュニケーションを記載
	初動期	
	対応期	
まん延防止	準備期	市町村が実施するまん延防止措置を記載
	初動期	
	対応期	
ワクチン	準備期	ワクチン接種の実施の方法（実施場所・協力医療機関等）を記載
	初動期	
	対応期	
保健	準備期	地域保健対策に関する体制の整備や実施について記載
	初動期	
	対応期	
物資	準備期	物資及び資材の備蓄等
	初動期	
	対応期	
住民の生活及び地域経済の安定の確保	準備期	生活環境の保全に関することを記載
	初動期	
	対応期	

※準備期：感染症が発生する前段階(平時)に必要な対応等
※初動期：感染症の発生初期に必要な初動対応
※対応期：感染症のまん延以降、収束するまでに必要な対応等